

板橋区立赤塚第二中学校 学校だより <第1号>



教育目標「立志・鍛錬・協調」

# 芙蓉

令和6年4月 8日

校長 木村 知広

〒175-0094

板橋区成増 3-18-1

TEL (3939)0247

## 令和6年度開始

校長 木村知広

新型コロナウイルス感染症の影響も極わずかとなり、学校の当たり前が戻ってきて迎えた令和6年度。今年度は、生徒の「自律・自立」を最上位目標に掲げ、この数年間ですっかり定着した Chromebook の活用やデジタル教書の活用等の取組のさらなる充実を図るとともに、生徒自身が主体的・対話的に学ぶことを通じより深い学びへのつなげる教育活動の充実を図って参ります。さらに、今まで培ってきた伝統と校風を大切に、これからの赤塚第二中学校が、より一層生徒・保護者・地域の皆様にとって、また教職員にとっても、よりよい学び舎となるよう、生徒の可能性を伸ばす教育活動を全力かつ心を込めて取り組んで参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



赤塚二中 HP

また、今年度も、校務のデジタル化推進をより一層図って参ります。「学校から家庭への連絡」及び「家庭から学校へ連絡」等について、「板橋区学校等緊急連絡・お知らせ配信メール」や「Google フォーム」、「赤塚第二中学校ホームページ」等を積極的に活用して参りますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

### ★学びのエリアのめざす子ども像

「集団美」集団の中で自分がどうあるべきか考え、行動できる児童・生徒

「探究」自ら問いをもち、思考・判断・表現したことを生かせる児童・生徒

「協働」人との関わりや地域を大切にする児童・生徒

### ★赤塚第二中学校の教育目標

「立志」自ら志を立て、自ら考え判断し行動することのできる生徒を育てる

「鍛錬」心身ともに健康で、努力を惜しまず、切磋琢磨し合う生徒を育てる

「協調」規範意識を身に付け、他を思いやりながら協力し合う生徒を育てる

### ★学校づくりの基本的な考え

これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現するとともに、明るい未来を共に創っていくことができるよう、生徒の「未来を切り拓く確かな力と豊かな人間性」を育てます。

1 目指す学校像…生徒の可能性を最大限に引き出す魅力的な教育活動を通じて、次の学校像を実現する。

- ① 未来社会を自律的に切り拓くための確かな力を身につける学校
- ② 多様な人々と協働して社会を創るための豊かな人間性を身につける学校
- ③ 安心して学び、生き生きと活躍することができる学校

2 目指す生徒像…知徳体のバランスのとれた力を兼ね備えた、次の生徒像を実現する。

- ① 心身とも健康で、自ら学び、考え、判断し、責任をもって行動する生徒
- ② あらゆる他者を尊重し、思いやりと感謝の心をもって協働する生徒
- ③ 目標実現と課題解決に向けて、粘り強く創意工夫する生徒

3 目指す教師像…教育公務員としての自覚と責任をもった職務遂行を通して、次の教師像を実現する。

- ① 生徒の良さを発見する眼、受け止める心、語り合える言葉を大切にする教師
- ② 互いの健康と心を大切に協働し、互いの指導力を磨き合う教師
- ③ 教育施策や社会の変化等を前向きに受け止め、誠実に対応する教師

## 令和6年度 目標を達成させるために大切にしてほしいこと

### ☆自分の可能性を伸ばし、目標を達成させるために大切なこと

目標達成に向けて努力することは、皆さんの可能性を伸ばすことに繋がります。具体的には、その経験を通じて、未来を切り拓く確かな力と豊かな人間性が身につくとともに、自分自身に自信がもてるようになります。ですから、1年間のより具体的な目標をしっかりと立ててください。

また、自らが立てた目標を達成するためには、「自立（自分のことは自分でやること）」と「自律（自分の心と言動をコントロールすること）」を確立することが重要です。具体的には、本校の伝統である「集団美」「安心・安全」という考え方を大切に学校生活を送ることはもちろん、特に次の4点を大切に日々過ごして欲しいと思います。

○自分のことは自分でやること（人のせいにしない）

○目標を常に見据え、自ら学び・考え・判断し・責任をもって行動すること

○自らの言動を常に振り返り、自分を信じ、ねばり強く挑戦を続けること

○違いを認める心、思いやりの心、感謝の心をもって、多様な人と協働すること

自分の目標を達成させるためには、自分自身の努力が何よりも重要です。特に、自分の弱さを克服し、ねばり強く創意工夫しながら取り組むことが大切になってきます。

また、人は一人では生きていけませんので、自分が困難なときに助けてくれる仲間や共に努力してくれる仲間、切磋琢磨してくれる仲間が必要となります。こうした仲間と絆を深め、よりよい人間関係を築くためにも、人とのつながりを大切にしていくことが重要になってきます。

新学期がスタートする今、今の自分の姿を見つめた上で、一年後どのような姿になりたいか、思い描いてみてください。そして、学習面、生活面などの目標を達成するために、より具体的な計画を定めてください。

令和6年度は、「自分のことは自分でやること」、「自分の心と言動をコントロールすること」を大切に、目標の達成に向けて、あきらめず、ねばり強く、挑戦し続けていきましょう。皆さんの頑張りを期待しています。

「人にとって最も恐ろしいのは、惰性で日を送ることである。向上心があれば、飽きることはない。

仕事・生活の中に向上の道を残さなければならない。向上を求めねばならない。」

第一次南極越冬隊隊長 西堀 栄三郎

### 目標の達成に向けてのステップ

【ステップ1】今の自分を見つめてみてください。

○自分の好きなこと・ものは何ですか ○得意なこと・ものは何ですか

○頑張っていることは何ですか ○自分のよいところ・長所は何ですか(自己PRです)

○将来どんな大人になりたいですか。それを実現するためには、どんな力をつけていかなければならないと思いますか

【ステップ2】ステップ1で考えた自分の現状を踏まえ、目標と、それを一年後実現するために取り組むことを考えてください。

○学習面の目標は何ですか

→ 一年後、実現するために取り組まなければならないことは、具体的に何ですか(計画)

○生活面の目標は何ですか

→ 一年後、実現するために取り組まなければならないことは、具体的に何ですか(計画)

○部活動や地域活動、習い事、資格取得などの目標は何ですか

→ 一年後、実現するために取り組まなければならないことは、具体的に何ですか(計画)

○その他の実現させたい目標は何ですか

→ 一年後、実現するために取り組まなければならないことは、具体的に何ですか(計画)

【ステップ3】1ヶ月後、3ヶ月後等、定期的に理想とする自分の姿に近づけたかどうかを振り返るとともに、必要に応じてステップ2の計画を変更・修正する。

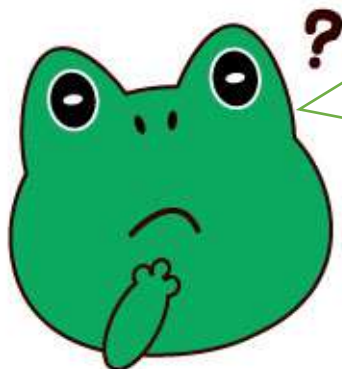
## 板橋区の子どもたちに育ててほしい” 3匹のカエル”

令和6年4月1日 板橋区教育委員会教育長 中川 修一

ご入学、ご進級おめでとうございます。板橋区教育委員会教育長の中川修一です。私のことを覚えてくれている人がいたらうれしいです。「教育委員会ではどんな仕事をしているの?」「教育長って、どんな人なのかな?」と思う人のために、ちょっとだけ説明をしましょう。

板橋区役所では、板橋区に住んでいるみなさんの生活をよりよくするために、様々な仕事を行っています。教育委員会で働く人は、板橋区で過ごす子どもたちが、毎日明るく、元気に、賢く、前向きに育つためにできることを話し合っ、決定します。みなさんの学校の校長先生はじめ先生方、PTA会長さん、地域の方々と協力しながら仕事を進めています。教育長である私は、教育委員会の代表者で、教育委員会を開いたり、教育委員会事務局の仕事を取りまとめたりする役割があります。中でも、一番好きな仕事は、学校を訪問し、みなさんが学習や運動に取り組んでいる様子を見せていただくことです。

さて、授業の様子を見ながら、私は、みなさんの心の中に育ててほしいと考えているものがあります。それは、「3匹のカエル」です。「カエル」と言っても、生き物のカエルではなく、下の絵のような「かんがえる」「まちがえる」「ふりかえる」という3つの「カエル」のことなのです。ぜひ、よく読んで、考えて、なるほどと思った人は、今日からためしてみてください。



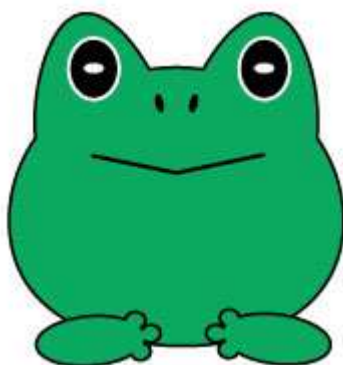
「かんがえる」

どんなときでもじっくり考えることが好きです。たとえ、まちがえてしまっても、自分なりの考えをもつことが好きです。一人で考えることも好きですが、友達とああでもない、こうでもない、と考えながら新しい考えを探し出すことはもっと好きです!

まちがえることが得意です。授業中、自分の思っていることをどんどん発表します。わたしのクラスでは、まちがえた答えを言うと、みんなでまちがえた理由を話し合ってくれます。だから、どうしてまちがえたのかがよく分かり、次からまちがわかないようになります。先生も「教室は、まちがえるところだ」と教えてくれました。



「まちがえる」



「ふりかえる」

授業や行事の始まる時にめあてや目標を立てます。そして、最後に、「できるようになったこと」、「次に取り組みたいこと」、「次から気を付けたいこと」などを振り返ることが得意です。振り返ると、前の自分よりも成長していることに気付くし、これから自分のしたいことが分かって、ますます学習が楽しみになります。